

外信	3
1953. 1. 22	

## 理論物理学国際会議に関する外部との往復通信一束

(1953年1月22日現在)

### A. 着信

#### 1. *Perin* から旅費調達見通しの通知

「少くも半額はフランス政府から出るとは確かであり、残り半額の補助を求め。」

#### 2. *Maurice Lévy* (ソルボンヌの *Ecole Normale Supérieure*)

から参加申込 (記事 在京 6 項目 8 (2) の (a) 項 参照)

(a) 招請状が欲しい。

(i) 論文を読む用意がある。

(j) 往復旅費の半額或は全額補助をもらいたい。

### B. 発信 (起草中のものを含む)

#### 1. *Schiff* へ招請状 (記事 在京 5 7頁、項目 8 の (1) 参照)

1月22日発送

#### 2. 国内各学会への連絡

(記事 在京 3 5頁、項目 4 参照)

下記各学会に対し、国際会議の開催について通知 未日科学者の講演等を希望する向きがあれば、先方の都合、プログラムの適合性等考慮の上、できる限り希望に応ずる旨の連絡。

1月20日発送

3. ロックフェラー財団に対する中間報告

(

記事	7頁
在京	5

 参照)

Mr. G.R. Pomeroy, Assistant Director, Division of Natural Sciences and Agriculture, Rockefeller Foundation.

(茅委員渡米の際連絡した人)に対し、1月19日現在招請状発送先・参加の諾否のリスト及びエネスコ、ロックフェラー補助金配布案について相談した Mott IUPAP会長あて手紙の写を同封したもの。

[注 1月24日発送]

4. Osborn (米国 ONR) に対する回答

(

記事	7頁
在京	5

 参照)

同氏から、一般からの提出論文の取扱いについての照会が来たのに対し、前回在京委員会の決定に基づいて、「会議の性質上、討議に出来るだけ重みをおきたいから、原則としては一般の論文は取り上げない。正式講演を損まれない参加者はこの討論に参加して発言する機会が十分ある筈である。勿論特別の場合に個々に当委員会を考える。」旨の回答。

[注 1月24日発送]

c163-012-008-13